

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		きらめき古堅		公表日 2025年2月28日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	3	個室等を活用している。	児童が学年が上がり体が大きくなっている為スペースが狭くなっている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3	急なお休みで職員が足りない時などは他事業所にヘルプをお願いしている。	利用児童が多い時はヘルプがないと支援が難しい。支援中の時は人数が足りているが送迎を行う時には足りない場合がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	個別で使う部屋には「はなまるルーム」と名付けて普段の活動で使う所とは違いが出る様に使用している。	玩具の収納がしづらく改善が必要。死角になるスペースがあり見守りが不十分になる時がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	日々の支援が終わった後は掃除やモップ掛け、消毒等を行い清潔にしている。その日で出来ない場合は次の日の朝に必ず掃除等をしている。	片付けや掃除が不十分な時がある。個別の部屋を活用できていない。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	個別の部屋がある。	個別の部屋はあるがその日の職員の人数が足りない时使用出来ない時がある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		定期的に会議をひらいていて職員の意見をだしあい話す事が出来ている。	会議に参加出来ない職員がいる。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		事業所会議等で共有している。	今後も継続していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		事業所会議等で共有している。	今後も継続していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	今後は第三者評価をして頂けるようにしていく。	会社内で他の事業所の方に評価してもらうようにする。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		社内研修動画をみている。	なかなか研修動画をみれない職員もいるのでシフト調整をして動画を見れるようにしていく。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		ニーズにあわせている。一か月の活動表を保護者に配っている。	今後も継続していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		ニーズを聞き取りして分析しスモールステップを取りえている。	今後も継続していく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	計画書を作成する時は職員に聞き取りをしている。	ケース会議があまりないのでケース会議を増やして行く。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		児童一人一人に合わせた支援を行っている。	今後も継続していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		アセスメントを取って対象の児童を観察している。	アセスメントシートが使いにくくので今後アセスメントシートを使いやすくしていく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	イベントをおこないながら家族支援を行っている。	今後も継続していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		職員一人一人に活動案を考えてもらっている。	今後も継続していく。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	3	固定化しないように見直しをしている。	活動内容が同じような物になってしまっている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		専門職の方を呼んで個別で活動をしたりしている。	児童に合わせた計画を作成しているが下校時間が遅く中々実施出来ていない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		昼礼等をしてその日の流れや職員の動きを共有している。	昼礼が出来ていない時もあるのなるべく昼礼はする様にしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		その日の終礼で一日の出来事や反省点をみんなで振り返っている。その場にはいない職員にも後日伝達をしている。	今後も継続していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	毎日リーダーが日報に残している。	以前はノートにまとめていたが今は口頭だけになっているのでノートをまた活用していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		モニタリングの報告を参考にして今後必要な支援を考えている。	事業所会議でモニタリングの報告をして職員全員で確認し合い全員同じ支援が出来るようにしていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	1	確認して活用しています。	今後も継続していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		活動では自己選択出来るように児童が「しない」と言えば無理にはさせないようにしている。	児童の意思を尊重しています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童発達支援管理責任者が参加している。	今後は児童発達支援管理責任者以外も参加できるようにシフト等を調整していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	学校の先生とは学校送迎時に情報共有をしている。	連絡がとれていない。 連携していない関係機関があるので今後少しずつ連携していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		学校の掲示板やお手紙等をみて下校時間を把握している。	学校送迎時に保護者から連絡が無い為に利用予定の児童が帰っていない時等がある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	カルテを参考にしている。	利用開始時は行っているが現在は行っていない。 かわからない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	移行児童は現時点では無し。	移行児童は現時点ではないので移行の時は情報提供をしていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3	スーパーバイズはうけていない。	スーパーバイズを受ける研修の機会があれば参加していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	児童館へ遊びに行ったり行事へ参加する機会がある。	交流する機会があまり持っていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	4	開催日が合えば参加したい。	利用児童が多い日もあり参加できていないので今後は参加できるようにしていきたい。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		児童送迎時の申し送りやLINE（携帯）等で保護者との情報共有を行っている。	今後も継続していきます。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	うりずんミーティングや研修情報の提供を行っている。	まだ研修も受けていない職員もいるので今後は受けられるようにシフト調整をしていきたい。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	利用者負担額が増えた際に書類と一緒に説明している（長期休み等）	保護者から質問等があれば返答していきます。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		作成する前に計画相談員のサービス等利用計画を基に個別支援計画書を作成している。	今後も継続していきます。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		利用開始時点で保護者から同意をえて利用をしています。	保護者や計画相談員からの変更があればその都度変更していきます。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		親子参観を行ったりご家族から相談があった際には職員間で話し合い保護者へ共有している。	今後も継続していきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7		保護者会やイベントを行う事で保護者や兄弟児で交流を行っている。	全体ではなく個別で保護者会を行っている為全体でも行えるようにしたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情があった際はすぐに対応し謝罪している。その後職員全員に周知している。その場で対応出来ない時は上長に相談している。	今後も継続していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	月間の活動表は配布し普段の様子はLINE（携帯）で発信している。	ブログの更新やSNSは活用できていないので今後活用していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報は鍵付きの書庫で保管している。	今後も継続していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		その日する活動をホワイトボード等に描いてみえるかをして見通しを立てるようにしている。	今後も継続していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1	学校の先生は招待している。	事業所の行事はしているが招待は出来ないので今後招待できるようにしていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	定期的に訓練を実施し保護者へ共有している。	マニュアルが保護者に周知出来ていないので保護者に今後は周知していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	避難訓練は行っている。	防災グッズに必要な備品が完璧に揃っていないので購入が必要。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		てんかんを持っている児童の発作を起こした時の対応をまとめている。	てんかんが起きた時の対応の仕方を確認した方が良いと思うので法人内の看護師に研修を頼み受けるようにしたい。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		会社内で提供している食事を注文する時はアレルギーがある子の事を記載して注文し食事を分けて提供している。	医師の指示が保護者から提示されたらそれに基づいて行っています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全運転の研修や動画視聴をして安全に過ごせるように支援している。	お出かけする時等は多動がある児童にはマンツーマンでつくようにして安全を確保しています。今後も継続していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	児童の安全確保は出来ている。	ご家族へ周知出来ていないので周知していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットがあった場合はその都度会議を開いて情報共有をしている。	今後も継続していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		研修動画をみている。	今後も継続していきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		身体拘束等を行う場合は保護者へ事前に連絡をします。	身体拘束等がおきないように児童の支援に努めます。	